

島々の話題 ISLANDS' TOPICS

7/9

《岩城》

地元の旬の食材を 子ども達の学校給食へ

岩城小学校において、地域食材を学校給食に提供している生産農家「うまい会」と、3年生児童との給食試食交流会が行われました。児童達は事前に生産農家で収穫体験などを行い、野菜作りについて学習し、農家の方々の前でトマトやゴマなどの旬の野菜について学んだ事を発表しました。その後、地元で取れたおいしい旬の野菜を使った給食と一緒に食べ、児童達は作物の収穫、試食する体験とおして農業に関心を持つことができました。



7/10

弓削中櫓漕ぎ大会

弓削中学校前の海岸において、夏の恒例行事である櫓漕ぎ大会が行われました。この櫓漕ぎ大会は、今年で24回目の開催となり、生徒たちは、漕ぎ手を順番に交代しながら、力強く櫓を漕いでいました。そして、組対抗レースのほかに保護者のレースも行われ、大変盛り上がり上がっていました。



7/16

弓削高校地区清掃

弓削高校の生徒の皆さんが、毎年恒例の地域の清掃を行いました。今年は、弓削港、松原海水浴場、佐島港、海光園、岩城港の清掃活動を行い、一般ゴミやカン・ビンの回収をしてくれたおかげで、隅々まで綺麗になりました。



7/19

《弓削》

松原海水浴場 海びらきイベント

松原海水浴場において、海びらきイベントが行われました。まず、中学生以上による櫓漕ぎ大会が行われました。その後、小学生以下による鯛のつかみ取りやバナナボートが行われ、たくさんの人が参加した大変賑やかなイベントとなりました。



とみた こういち 富田 興一氏（前上島町教育委員会委員長） 平成22年度全国市町村教育委員会連合会 功労者等表彰

この度、弓削地区の富田興一氏が、多年にわたり教育委員として教育振興に尽くされた功績が認められ、平成22年度全国市町村教育委員会連合会功労者として表彰されました。富田氏は、平成3年に教育委員に就任されて以来、平成17年からは教育委員長も務められ、平成21年までの永きにわたり地方教育行政の重責を担ってこられました。また、愛媛県市町教育連合会功労者としても同時に表彰されております。御榮譽を心からお慶び申し上げますとともに、今後もさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



7/18~31

《弓削》

日本・フランス

交流美術展「Le Sel・塩」

7月18日から31日まで、せとうち交流館を主会場として、塩をテーマとした日本・フランス交流美術展「Le Sel・塩」が開催されました。会場には、日仏のアーティスト39人の塩をテーマにした現代アート約60点が並び、さまざまな作品が来場者を楽しませていました。初日の18日には、開会セレモニーが行われ、約120人が見守るなか、上村町長と村上統括実行委員長、パリのブリュノー・メゾンさんがテープカットをしました。また、19日には日本・フランス交流美術展にちなんだシンポジウムが行われ、京都東寺長者の砂原秀遍さんが「弓削と東寺」と題して、俳優であり考古学研究者の荻谷俊介さんが「古代瀬戸内文化圏と塩」と題して基調講演を行いました。その後、パネルディスカッションでは、日仏の塩の文化などについて意見交換しました。最後に、古代の塩づくりに取り組むNPO法人「弓削の荘」が弓削の塩を、同様に岡山県新見市の「新見庄たたら会」が鉄を京都東寺長者の砂原秀遍さんに中世の頃を再現して献上しました。また、島内視察のボンネットバスも走り、参加者を楽しませていました。



7/21~24

第4回こどもミニ島体験キャンプ

7月21日から24日までの4日間、佐島、高井神、弓削島の3島を巡る「子どもミニ島体験キャンプ」が開催されました。このミニ島体験キャンプは、都会と地元の子どもが、上島の自然の中で地域の方々との交流や仲間同士の助け合いの中から、自立した精神を養うことを目的として、今回で4回目の開催となりました。今回参加した子どもたちは、上島町から17名、埼玉県や大阪府、広島県など町外の子どもたち15名、総勢32名で、小学校3年生から6年生までの年齢層の参加がありました。初日には、出発式や高井神島での泳ぎや貝とりなどが行われ、二日目には、地引き網体験を、三日目には、カヌーや釣りをを行い、夜には7軒の一般家庭にホームステイさせていただき、島の暮らしを体験しました。最終日には、仲間とのはがき交換や解散式が行われました。わずか四日間ですが、子どもたちは、島にまみれて強くたくましくなっていました。



7/24

《岩城・生名》

ヒジキ母藻製作・設置

岩城・生名沿岸域において、藻場が支える豊かな海づくり活動として、岩城・生名地区漁業関係者と一般住民によるヒジキの母藻製作・設置を行いました。藻場は、魚介類の産卵場、幼稚魚の保育場になるなど水産資源の保護・培養に重要な役割を果たし、水質浄化も有しているため、大切な資源であります。今後も藻場づくり活動へのご理解ご協力をよろしく願います。



7/30

《生名》

高齢者とのふれあい

養護老人ホーム海光園において、入所者と弓削高等学校の生徒との交流会が行われました。この交流会は、福祉や介護についての知識や理解を深めるとともに、多くの人たちと出会い、触れ合うことによって、豊かな感性を備え、多様な価値観を認め合いながら、共に生きることができる生徒の育成を目的としたもので、参加者は昔懐かしい曲の合唱や演奏・ゲームなどをし、和やかな楽しい時間を過ごしていました。



8/1

《魚島》

親子でうどんづくり挑戦

魚島公民館において、第1回夏休み子ども体験教室として親子でうどんづくりに挑戦しました。講師の増井三省先生にポイントを教わりながら、粉をこねたり、足で踏んだり、親子で協力して生地をつくりました。生地を平らに伸ばして細く切っていくのは難しかったようですが、お父さん、お母さん、おばあちゃんに手伝ってもらいながらそれぞれコシのあるうどんができました。最後はみんなで試食をし、夏休みのいい思い出ができました。



日本一船匠作「北前千石船」

現在、弓削商船高等専門学校管理棟玄関において、東京大学より寄贈された精巧な復元模型「北前千石船」が展示されております。これは、和船造りの船大工で重要無形文化財に推薦されたこともある、名人「野田房吉」さんが作ったもので、野田さんが作った模型は首相官邸や米ハーバード大学、東京大学などに寄贈されています。なお、10月からは、18世紀の和船「弁財船」などの模型もある同学校史料館で展示します。図書館が開館されている時間帯の平日や学園祭などのイベント時に見学することができます。皆さん、ぜひ一度ご覧ください。



8/7

第25回かみじまふるさと夜市

弓削港緑地公園周辺において、第25回かみじまふるさと夜市が開催されました。この日は、開催に先駆け、昔なつかしいチンドン屋が岩城・生名・弓削地区を練り歩き、たくさんの方を喜ばせていました。また、オーピングイベントでもチンドン屋の練り歩きと弓削六鼓人の和太鼓演奏で会場を盛り上げ、かみじまふるさと夜市がスタートしました。まず、かみじまふるさと夜市実行委員会及び来賓による餅まきが行われ、続いて島本陣岩城太鼓による和太鼓演奏、弓削高校ブラスバンドによる演奏、生名子供リズム体操、ヨサコイソーラン踊り、フラダンス、ゆかた抽選会、大抽選会が行われました。会場には、町内の各種団体など特色を活かした出店が立ち並び、町内の方や帰省客など約3,500人のお客さんが訪れ大変賑わっていました。また今年は、夜市の最後を締めくくる皆様方のご寄付による1,000発の花火が2回に分けて打ち上げられ、間近に見る迫力満点の豪華な花火に会場は大盛り上がりでした。



8/8

《弓削》

第13回ゆげシーサイドフェスティバル

松原海水浴場において、上島町商工会弓削青年部主催による第13回ゆげシーサイドフェスティバルが行われました。今年は町内はもちろん愛媛県からは今治市・西条市、県外からは尾道市・福山市・三原市・竹原市・広島市・愛知県・福島県・鹿児島県から39チーム約200人が参加しました。レースは、海苔養殖で使用する作業船通称「さんま船」を使用し、4人1組で海に浮いたタルを折り返してタイムを競います。参加した各チームは瀬戸内最強小学生を目指し、白熱したレースを繰り広げていました。なお、今年の瀬戸内最強小学生は、三原市の「ブラックドラゴン」チームでした。

